

患者説明文書

「傍腫瘍性神経症候群関連抗体陽性例の臨床的特徴に関する検討」

ご協力をお願い

1. 研究の概要と目的

傍腫瘍性神経症候群は、悪性腫瘍に合併する免疫学的機序により神経症状(意識障害・運動失調・感覚障害など)を呈する症候群であり、悪性腫瘍が発現する前から症状が出現する場合があります。診断には血液検査による傍腫瘍性神経症候群関連抗体の検査が有用ですが、弱陽性など臨床的な意義の判断に迷う事例もみられます。

そのため、当院脳神経・脳卒中科では、傍腫瘍性神経症候群関連抗体の検査を行い、陽性であった患者様の、臨床的特徴について施設内で振り返る研究を行うこととなりました。

2. 実施施設, 担当医師

京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	崔 聡	(責任研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	今井 啓輔	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	山田 丈弘	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	沼 宗一郎	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	長 正訓	(分担研究医師)
京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科	加藤 拓真	(分担研究医師)

3. 研究内容と方法

当科に入院し、傍腫瘍性神経症候群関連抗体の検査(BML社, 外注検査)を実施した患者様のうち、弱陽性以上の判定となった患者様を対象とし、以下の項目を調査します。

対象期間は2017年4月から2024年3月までとします。調査するデータは以下の通りです。

- 患者基本情報と疾患関連情報：年齢や性別などの基本情報、基礎疾患や悪性腫瘍の併存率などの背景、傍腫瘍性神経症候群としての病型、抗体結果の内訳、他の自己免疫疾患の抗体検査結果、免疫治療の有無・内容など。

本研究の対象患者様のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院脳神経・脳卒中科にておこないます。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

4. 患者様の利益・不利益

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。なお、同意いただけない場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

5. 事務局・患者様問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科

電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308

責任研究医師氏名 崔 聡(toshi-sai@kyoto1.jrc.or.jp)